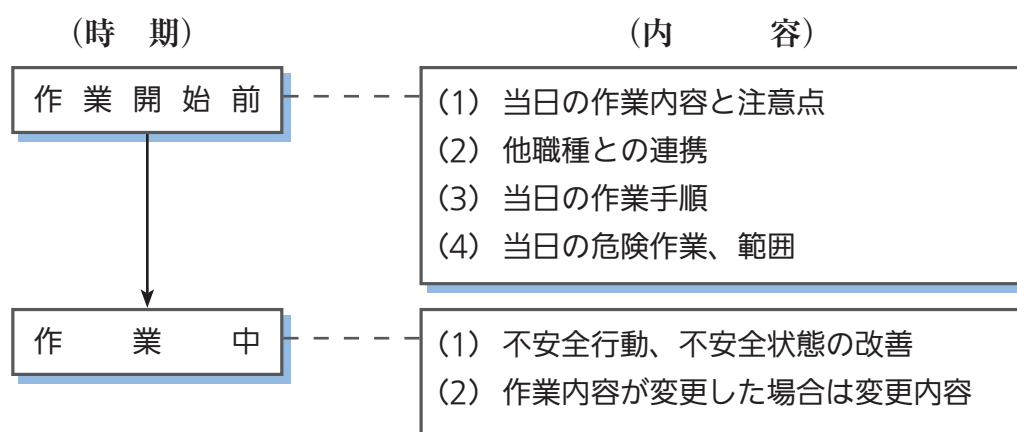


4. 指示の方法



5. 指示の仕方

- (1) 相手の能力に合った指示を。
- (2) 指示は具体的で分かり易く。
- (3) 自信のない指示はしない。
- (4) 努力目標的な指示をしない。
- (5) 朝令暮改ちょうれいぼくかい的な指示はしない。
- (6) 指示書による指示を。

6. 良い人間関係の形成

- (1) 人間尊重の理念にたって愛情と厳しさをもつ。
- (2) 親しく話し合える雰囲気を作る。(コミュニケーションをはかる)
- (3) 「やる気がまえ」の育成につとめる。
 - ① 作業者の能力に応じた責任を持たせる。
 - ② 作業者の長所を生かす。
- (4) 不平、不満、不安は早目に処理する。
- (5) 問題は早期に解決をはかる。
- (6) チームワークの集大成につとめる。(対立、意見の相違の打開)
- (7) 個人の特性を把握し、敬意の念をいだき、公平な対応。

4. 指示の方法とは

- 作業開始前
 - (1) 当日の作業内容
作業の種類、条件、環境、期間と注意のポイント
 - (2) 他職種との連携
作業相互間の連携、連絡方法と機械、器具等の使用優先順位などの調整
 - (3) 当日の作業手順「手順の急所について」
急所とは
 - ①安全衛生面…ケガ、疾病の可能性
 - ②品質面……基準、規格通りに作業を進めるポイント
 - ③能率面……能率を阻害する要因→やり直し、手戻りなど
 - (4) 当日の危険・有害作業、範囲→危険予知活動
- 作業中
 - (1) 不安全行動、不安全状態の排除と是正指示、措置、確認
 - (2) 作業内容の変更…なぜ変更したのか、理由の説明と納得の確認

5. 指示の仕方とは

- (1) 相手の能力に合わせる
- (2) 5W1 H方式で
- (3) 指示者は内容をよく検討して自信をもって指示する
- (4) 数値で示し、希望とやる気を持たせる指示
- (5) 一度指示したことを変更しない、変更の場合は理由を説明し、納得させる
- (6) 特に大事なことは、メモで渡す

6. 良い人間関係の形成（人と人との良いつながりをつくる）

- (1) 人間尊重の理念「安全第一」愛情「人を愛する感情」部下の生命と健康を守る厳しい態度
- (2) 親しく話し合える雰囲気「コミュニケーション→意思、考え方の交換」を作る
- (3) やる気がまへの育成
 - ①適正な作業の割り当て
 - ②優れている能力を生かす
- (4) 不平、不満、不安は早めに処理しないと→職場統制の乱れ、職場規律がおろそかになり、不安全行動の一因になる
- (5) 問題は早期に解決しないと→災害につながる 生産効率は低下する
- (6) 仕事は良いチームワークによって成果が期待できる
- (7) 人間尊重の理念（安全第一、安全はすべてに優先する）に立って公平な対応